

# デーリー東北

2018年(平成30年)6月13日(水曜日)(15)

## 縄文文様のグッズ、鉄道ジオラマで観光PR



個性豊かな地域活性化の方策が披露された成果発表会

# 学生が地域を元気に

八戸工業大(長谷川明学長)は8日、同大で「2017年度学生チャレンジプロジェクト」成果発表会を開いた。研究室や学生有志でつくる14チームが、縄文文様をあしらったグッズ開発や鉄道ジオラマ制作を通じて青森県の観光PR、地元食材を使った新商品の開発など、個性豊かな地域活性化の具体策を披露した。(須田山裕太)

### 八工大「プロジェクト」発表会

同事業は2013年度からスタート。学生から研究テーマを募り、同大が研究費用を助成している。

最優秀賞に輝いた「縄文デザインプロジェクトチーム」は、縄文時代に使われていたとされる文様に着目し、縄文文様をあしらったクリアファイルなどのオリジナルグッズを開発。八戸市内でワークショップを開いて市民に縄文文化に触れてもらうなど、同市などが世界文化遺産登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」の周知にも一役買った。

副リーダーの感性デザイン学科4年の最上雅さん(22)は「縄文時代の文様は面白く、縄文人は(デザインを学ぶ)私たちの先輩とも言える。これからもデザインを通じて地域を元気にしていきたい」と笑顔を見せた。